秩父・皆野新校基本計画骨子(案)修正一覧

	第2回委員会骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
学科等	普通科 国際探究科	国際教養科	 ●果たして国際探究科が子供たちにどれだけ魅力があるのか。秩父に人を集めるということで言えば、アニメ芸術分野ではないのか。 ●皆野高校が果たしてきた役割を踏まえれば、もう一つ別の学科があっても良い。 ●皆野高校の地域連携の取組を踏まえると、「地域観光資源科」など地域に密着した学科はどうか。 「探究」は今、流行りだが、この先を考えると流行り廃りに流されない方が良い。 ●国際探究科でも良いかなと思う。 ○秩父高校は、今年度から総合的な探究の時間において秩父地域について掘り下げて考える取組を行っている。そのイメージで学科名に「探究」という言葉を入れたのだとすると、「国際」と「探究」がマッチしない印象。
学校規模(1学年当たり)	200人(5) 普通科 160人(4) <u>国際探究科</u> 40人(1)	<mark>国際教養科</mark>	 ●普通科、国際に関する学科の分配も含めてよく検討した方が良い。 ●普通科の中に国際を学ぶ選択コースを作るのはどうか。 ●1年生で全員が同じ学びをして、2年生からコースに分かれる方がしっくりくる。 ○骨子案からすれば国際探究科がメインと認識する。国際探究科1クラスというバランスに合致しない。 ○「くくり募集」はできないのか。

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
		<u>ア</u> 地域の観光資源等を生かした協働的・探究 的な学びを通して生徒の資質・能力を育成	<u>ア</u> 自国の伝統 <mark>や</mark> 文化を理解するとともに、国際感覚を身に付け、国内外で活躍できる人材	
		し、地域の振興に貢献する人材を育てる学校	を育成する学校	降の項目も検討した方が良い。
	目指	<u>イ</u> 自国の伝統 <u>、</u> 文化を理解するとともに、国	イ 地域の歴史や伝統を重んじる中で、進学を	●「人材を育成する」より「人間を育
	す	際感覚を身に付け、国内外で活躍できる人材	重視した創造的な学びを実践し、地域におけ	成する」の方が良い。
	学校	を育成する学校	る学びの中心的役割を担う学校	○いろいろな進路がある中でも、進
		<u>ウ</u> 地域の歴史や伝統を重んじる中で、進学を	<u>ウ</u> 地域の観光資源等を生かした協働的・探究	学もしっかりできる、という文言
		重視した創造的な学びを実践し、地域におけ	的な学びを通して生徒の資質・能力を育成	も入れてもらえると嬉しい。
		る学びの中心的役割を担う学校	し、地域の振興に貢献する人材を育てる学校	
基本	育てたい生徒	ア 自国や郷土への理解を深め、その魅力を海	ア 自国や郷土への理解を深め、その魅力を海	特になし
基本理念		外に広めると <u>共</u> に、地域の資源を活用する	外に広めると <mark>とも</mark> に、地域の資源を活用する	
		意識を持ち、地域の課題解決に貢献できる生	意識を持ち、地域の課題解決に貢献できる生	
		徒	徒	
		イ 豊かな国際感覚と語学力を備え、異文化理		
		解・多文化交流に積極的に取り組み、グロー		
		バルとローカルの視点で思考できる、社会に		
	像	貢献する意欲にあふれた生徒		
		ウ 主体的に行動し、国内外で主導的な役割を		
		果たすことのできる生徒		
		エ 礼節を備え、多様性を尊重することのでき		
		る、心身ともに健康な生徒		

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
数	生徒の学力向上に努め、新しい時代に求められ	生徒の学力向上に努め、新しい時代に求められ	特になし
育	る資質・能力を身に付けた国内外で活躍できる	る資質・能力を身に付けた国内外で活躍できる	
教育活動等	人材を育成するために、主体的・対話的で深い	人材を育成するために、主体的・対話的で深い	
\mathcal{O}	学びの視点から学習内容の充実を図るととも	学びの視点から学習内容の充実を図るととも	
基本姿勢	に、 <u>地域との協働による探究的な</u> 学びを実践す	に、 <mark>探究的な学習等を通じ、地域をはじめ多様</mark>	
~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	る。	な他者との協働的な学びを実践する。	
學			

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
		ア 多様な科目を設定するとともに、 <u>教科横断</u>	ア 多様な科目を設定するとともに、 <u>教科<mark>等</mark>横</u>	●進学を目指す普通科がメインにな
		<u>的な</u> 学びを通して、豊かな国際感覚を <u>身に付</u>	<u>断的</u> な学びを通して、豊かな国際感覚を <mark>育</mark>	る。並びについては検討いただきた
		<u>けさせる</u> 。	<u>ಕ</u> ್ಕ	い。
1 %L	₩.	イ 教育活動の中にICT活用を位置 <u>づ</u> ける	イ 教育活動の中にICT活用を位置 <mark>付</mark> ける	
教科指導	基本	ことによって、生徒の個々の学力の更なる向	ことによって、生徒の個々の学力の更なる向	
指道	方針	上を図 <u>る</u>	上を図 <u>る</u> 。	
	21	ウ 地域と協働した探究的な学びを通して地	ウ <mark>_</mark> 探究的な学びを通して地域や国際社会の	
		域や国際社会の課題に関心を持たせるとと	課題に関心を持たせるとともに、課題解決に	
		もに、課題解決に取り組むための資質・能力	取り組むための資質・能力を <mark>育成する</mark> 。	
		を身に付けさせる。		

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
教科指導具現化	ア 多様な授業を設定し、補習・講習の充実及び外部教育機関との連携を図る。 イ 国際理解に資する科目を設置し、遠隔学習や外部での実習・見学等の機会、海外との交流の機会を設ける。 ウ 教科横断的な学びを実践するための教育課程の検討・実践を図る。 エ 教科・科目の特性に応じた習熟度別授業を実施し、ICTを活用して個々の学力に対応した細やかな指導を行う。 オ 総合的な探究の時間など地域の歴史や文化について学ぶ機会を確保し、地域振興や課題解決のために必要な実用的・実践的な知識・技能の習得を図る。	ア 幅広い教養を身に付けるための授業を行い、補習・講習の充実及び外部教育機関との連携を図る。 ウ 教科等横断的な学びを実践するための教育課程の検討・実践を図る。 オ 総合的な探究の時間等において地域の歴史や文化について学ぶ機会を確保し、地域振興や課題解決のために必要な実用的・実践的な知識・技能の習得を図る。	

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨
			(●準備委員会、○検討委員会)
	ア 挨拶を励行し、基本的生活習慣、礼節を備		○「態度を養う」という表現があるが、
	えた心身ともに健やかな人材を育成する。		少し遠慮しすぎという印象を受け
	イ 生徒一人一人が多様性を認め合い、他者を		る。
基本	尊重し、主体的に学校生活を送ろうとする態		
	度を養う。		
並		ウ 地域との関わりや課外活動を通じ、自己肯	
	定感を <u>高め</u> 、社会の一員としての <u>責任を果た</u>	定感を <mark>高めるとともに</mark> 、社会の一員としての	
	<u>そうとする態度を養う</u> 。	自覚と責任を持った生徒を育てる。	
	ア 挨拶の励行等の指導を行う。		特になし
	イ 定期的に面談や生活状況の調査を行い、生		
生	徒自ら生活を省みることにより自発的な成		
生徒指導	長を促す。		
導	ウ 教職員一人一人がカウンセリングマイン		
	ドを身に付け、スクールカウンセラーやスク		
	ールソーシャルワーカー等と連携するなど、		
具現	組織的な教育相談体制を確立する。		
┃	エ 地域の行事へ積極的に参加するなど地域		
	住民との交流を図るとともに、貢献活動を通		
	してボランティア精神の高揚を図る。		
	オ生徒による自主的な活動を支援し、自主・		
	自立の学校文化を確立する。		
		」 カ 人権 <mark>問題</mark> に対する正しい理解を深め、学校	
	の教育活動全体を通じて人間尊重の精神を	の教育活動全体を通じて人権尊重の精神を	
	涵養する。	涵養する。	

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨
		31, 1 12(3 (2 1 V)) 7 3 1V V 31V	12 = 314	(●準備委員会、○検討委員会)
		ア 将来を見据えた進路選択ができるよう、系		○「態度を養う」という表現があるが、
		統的・計画的なキャリア教育を行う。		少し遠慮しすぎという印象を受け
	基	イ 進学意識を高めるとともに、自信をもって	イ 進学意識を高めるとともに、自信を <mark>持</mark> って	る。
	基本方	将来の進路を選択するために必要な学力 <u>を</u>	将来の進路を選択するために必要な学力 <mark>の</mark>	
	針	<u>身に付けさせる</u> 。	<u>向上を図る</u> 。	
		ウ 地域資源を生かした学びを通して、地域社		
		会へ貢献しようとする態度を養う。		
		ア 探究活動を通じて生徒一人一人の進路意	ア 進路ガイダンスや面談等の機会を充実さ	○「インターンシップ」や「職業体験」
		識の醸成を図る。	せ、個別の進路に応じた適切な情報提供を行	などの要素を入れてはどうか。
進			5°.	
進路指導		イ 海外進学を含めた多様な進路に対応でき	イ <mark>海外での活躍</mark> を含めた多様な進路に <mark>対応</mark>	
導	具現化	<u>る</u> 指導体制を確立する。	できるよう、生徒に寄り添った指導体制を確	
			立する。	
		ウ 大学や外部機関と連携を図り、適性及び希	ウ 大学や外部機関と連携を図り、 <mark>希望に応じ</mark>	
		望に応じて、進路決定に向けた <u>学習指導を丁</u>	<mark>て</mark> 進路決定に向けた <mark>学習活動等を支援する</mark> 。	
		<u>寧に行う</u> 。		
		工 個別の進路に応じた適切な情報提供を行	<u>エ</u> 探究活動を通じて生徒一人一人の進路意	
		<u>.5.</u>	識の醸成を図る。	
		オ 地元企業や公共団体と連携し、 <u>講演等</u> を実	オ 地元企業や公共団体と連携し、 <mark>体験活動や</mark>	
		施する <u>など</u> 職業観の育成を図る。	<mark>講演等</mark> を実施する <mark>などして</mark> 職業観の育成を	
			図る。	

		第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨
		カ2回安貞云内がに4000 3 日 1 未	炒	(●準備委員会、○検討委員会)
		ア 歴史と伝統を受け継ぐ秩父地域の新校と		●皆野高校の商業科の良さを残した
		しての魅力を積極的に広報する。		統合ということならば、その点につ
	基	イ 求める生徒像を明確にし、目的意識が高く		いて表現されていた方が中学生に
	基本方	意欲のある生徒の募集に努める。		とって分かりやすい。
	針	ウ 秩父地域の <u>小中学校</u> 等への広報活動を強	ウ 秩父地域の小・中学校等への広報活動を強	
		化するとともに、秩父地区以外での広報活動	化するとともに、秩父地区以外での広報活動	
		も積極的に推進する。	も積極的に推進する。	
11.		ア PR動画の作成、広報誌への掲載等を通じ		○「説明会を実施する」とあるが、オ
生徒募集		て、新校の魅力を発信する。		ンラインの可能性も含め、もう少し
募生		イ 校務分掌 <u>の強化や</u> 同窓会 <u>・</u> 後援会との連携	イ 校務分掌 <mark>において生徒募集体制を強化す</mark>	ぼかしても良いのではないか。
	具現:	を図る。	<mark>るとともに</mark> 、同窓会 <mark>や</mark> 後援会との連携を図	○「広域なエリア」は大事なことであ
			る。	る。
		ウ 小・中学校教職員向けの説明会を実施す	ウ 小・中学校 <mark>と連携し、児童・生徒及び教職</mark>	
	化	<u> </u>	員同士の交流を通して情報交換を図る。	
		エ 広域なエリアを対象にした <u>説明会を実施</u>	エ 広域なエリアを対象にした <mark>広報活動を行</mark>	
		<u>する</u> 。	<u>5</u> .	
		オ 入学者選抜において、学校の特色や育てた		
		い生徒像を踏まえた選抜基準を設ける。		

	第2回委員会時点における骨子案	修正案	修正案に関連する御意見の要旨 (●準備委員会、○検討委員会)
	ア 地域に貢献し、他者を尊重する態度を育成	修正なし	特になし
	するため、課外活動の充実を通して、地域と		
その	関わりながら異文化に対する学びの機会を		
他	設ける。		
	イ 指導の充実を目的とした様々な研修を実		
	施して、教職員の資質・能力の向上を図る。		